

市内経営動向調査

平成30年10月～12月期（第3四半期）

- ① 調査の時期 平成30年10月 ② 調査の期間 平成30年10月～12月
③ 調査対象企業 280社 ④ 回収状況 131社（回答率46.8%）
⑤ 調査内容 建設業、製造業、卸・小売業、サービス業を営む企業に対して、佐世保の景況感、
業界の景況感、前年同期比売上動向（H29.10月～12月）、前年同期比採算動向
（H29.10月～12月）を調査

※DI=ディフュージョン・インデックスとは《「増加・好転の割合」－「減少・悪化の割合」》

【総括】

○全業種

全業種では、業界の景況感、前年同期比の採算動向においてDI値の改善がみられた。今回2期連続で悪化が続いていた前年同期比の採算動向では改善に転じ、その他の調査項目では若干の増減、いずれも横ばいの動きとなった。業種毎には数値に一進一退の動きも見られるため、今後の動向に注視が必要である。今回採算動向では改善に転じたものの、依然として、価格競争や人件費、原材料費、燃料費の上昇による負担増といった理由から企業の利益確保やネット販売の増加による店頭販売を苦慮する声が寄せられており、業務効率化による生産性の向上や販売方法の改善が求められる。全国的には上記問題に加え、暖冬の影響による冬物商材の動きの鈍化や人手不足の深刻化、消費増税の影響など不透明感が増す中、景況感の足踏みが推察される。

○佐世保市内の景況感

DI値は、卸・小売業、サービス業において改善したものの、建設業、製造業において悪化した。前回全業種の中で最も高い数値であった製造業では、▲21.4（前回比－9.4ポイント）とDI値は悪化に転じたものの、依然として全業種の中で高い数値を維持している。また、緩やかな下降が続いていた建設業では、▲31.6（前回比－7.8ポイント）と悪化の幅が大きくなっており、先行きに慎重な見方が残る。一方、低い数値が続いていた卸・小売業では▲30.5（前回比＋19.5ポイント）と改善に転じた。

○市内業界の景況感

DI値は、製造業、卸・小売業において改善したものの、建設業、サービス業において悪化した。製造業では『悪い』『大変悪い』と回答した企業が21.4%減少し、▲10.8（前回比＋13.2ポイント）とDI値は改善に転じ、全業種の中で最も高い数値となった。また、全業種の中で低い数値が続いていた卸・小売業では、『悪い』『大変悪い』と回答した企業が16.7%減少し、▲30.5（前回比＋19.5ポイント）とDI値は大きく改善に転じた。

○前年同期比の売上動向

DI値は、建設業、製造業において改善したものの、卸・小売業、サービス業において悪化した。建設業では2期連続でDI値の大きな悪化が続いていたが、前回比＋1.6と若干の改善に転じた。佐世保・業界の景況感においては、下降傾向にあるため今後の動向を注視する必要がある。一方、3期連続で悪化が続いていた製造業では、『増加』『やや増加』と回答した企業が12.6%増加し、▲3.5（前回比＋20.5ポイント）とDI値は大きく改善に転じた。

○前年同期比の採算動向

DI値は、製造業、卸・小売業において改善したものの、建設業、サービス業において悪化した。依然として、深刻な人手不足の影響による労務費の上昇や燃料費・原材料費の高騰を指摘する声が寄せられた。全国的にもこれらに加えコスト増加分の価格転嫁の遅れや消費増税の影響を懸念する声が続いている。

①佐世保の景況感について				②市内業界の景況感				③昨年同期比の売上の動向は？				④昨年同期比の採算動向は？			
全業種 DI値 ▲ 29.9				全業種 DI値 ▲ 26.8				全業種 DI値 ▲ 18.3				全業種 ▲ 22.1			
1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.増加	3	2.29%	2.3	1.好転	0	0.00%	0.0
2.良い	4	3.05%	3.0	2.良い	7	5.34%	5.3	2.やや増加	22	16.79%	16.8	2.やや好転	17	12.98%	13.0
3.普通	84	64.12%	64.1	3.普通	82	62.60%	62.6	3.変わらない	57	43.51%	43.5	3.変わらない	68	51.91%	51.9
4.悪い	39	29.77%	29.8	4.悪い	37	28.24%	28.2	4.やや減少	32	24.43%	24.4	4.やや悪化	35	26.72%	26.7
5.大変悪い	4	3.05%	3.1	5.大変悪い	5	3.82%	3.9	5.減少	17	12.98%	13.0	5.悪化	11	8.40%	8.4
建設業 DI値 ▲ 31.6				建設業 DI値 ▲ 26.4				建設業 DI値 ▲ 34.0				建設業 DI値 ▲ 36.9			
1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.増加	0	0.00%	0.0	1.好転	0	0.00%	0.0
2.良い	1	2.63%	2.6	2.良い	1	2.63%	2.6	2.やや増加	3	7.89%	8.0	2.やや好転	1	2.63%	2.6
3.普通	24	63.16%	63.2	3.普通	26	68.42%	68.4	3.変わらない	19	50.00%	50.0	3.変わらない	22	57.89%	57.9
4.悪い	11	28.95%	29.0	4.悪い	8	21.05%	21.1	4.やや減少	8	21.05%	21.0	4.やや悪化	12	31.58%	31.6
5.大変悪い	2	5.26%	5.2	5.大変悪い	3	7.89%	7.9	5.減少	8	21.05%	21.0	5.悪化	3	7.89%	7.9
製造業 DI値 ▲ 21.4				製造業 DI値 ▲ 10.8				製造業 DI値 ▲ 3.5				製造業 DI値 ▲ 7.1			
1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.増加	3	10.71%	10.7	1.好転	0	0.00%	0.0
2.良い	1	3.57%	3.6	2.良い	5	17.86%	17.8	2.やや増加	5	17.86%	17.9	2.やや好転	5	17.86%	17.9
3.普通	20	71.43%	71.4	3.普通	15	53.57%	53.6	3.変わらない	11	39.29%	39.3	3.変わらない	16	57.14%	57.1
4.悪い	6	21.43%	21.4	4.悪い	7	25.00%	25.0	4.やや減少	4	14.29%	14.3	4.やや悪化	3	10.71%	10.7
5.大変悪い	1	3.57%	3.6	5.大変悪い	1	3.57%	3.6	5.減少	5	17.86%	17.8	5.悪化	4	14.29%	14.3
卸・小売業 DI値 ▲ 36.1				卸・小売業 DI値 ▲ 30.5				卸・小売業 DI値 ▲ 24.9				卸・小売業 DI値 ▲ 25.0			
1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.増加	0	0.00%	0.0	1.好転	0	0.00%	0.0
2.良い	1	2.78%	2.8	2.良い	1	2.78%	2.8	2.やや増加	6	16.67%	16.7	2.やや好転	4	11.11%	11.1
3.普通	21	58.33%	58.3	3.普通	23	63.89%	63.9	3.変わらない	15	41.67%	41.7	3.変わらない	19	52.78%	52.8
4.悪い	13	36.11%	36.1	4.悪い	11	30.56%	30.6	4.やや減少	12	33.33%	33.3	4.やや悪化	11	30.56%	30.6
5.大変悪い	1	2.78%	2.8	5.大変悪い	1	2.78%	2.7	5.減少	3	8.33%	8.3	5.悪化	2	5.56%	5.5
サービス業 DI値 ▲ 27.5				サービス業 DI値 ▲ 38.0				サービス業 DI値 ▲ 3.4				サービス業 DI値 ▲ 13.8			
1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.増加	0	0.00%	0.0	1.好転	0	0.00%	0.0
2.良い	1	3.45%	3.5	2.良い	0	0.00%	0.0	2.やや増加	8	27.59%	27.6	2.やや好転	7	24.14%	24.1
3.普通	19	65.52%	65.5	3.普通	18	62.07%	62.0	3.変わらない	12	41.38%	41.4	3.変わらない	11	37.93%	38.0
4.悪い	9	31.03%	31.0	4.悪い	11	37.93%	38.0	4.やや減少	8	27.59%	27.6	4.やや悪化	9	31.03%	31.0
5.大変悪い	0	0.00%	0.0	5.大変悪い	0	0.00%	0.0	5.減少	1	3.45%	3.4	5.悪化	2	6.90%	6.9

市内経営動向調査 平成30年度第3四半期（平成30年10月～12月）DI景況感 ※DI値は平成30年第2四半期（平成30年7月～9月）と比較

	佐世保の景況感	業界の景況感	前年同期比売上げ動向	前年同期比採算動向
全業種	DI ▲28.7 ⇒ ▲29.9 ↘ 	DI ▲28.7 ⇒ ▲26.8 ↗ 	DI ▲18.3 ⇒ ▲18.3 ⇌ 	DI ▲26.0 ⇒ ▲22.1 ↘
建設業	DI ▲23.8 ⇒ ▲31.6 ↗ 	DI ▲16.6 ⇒ ▲26.4 ↗ 	DI ▲35.6 ⇒ ▲34.0 ↘ 	DI ▲31.0 ⇒ ▲36.9 ↗
製造業	DI ▲12.0 ⇒ ▲21.4 ↗ 	DI ▲24.0 ⇒ ▲10.8 ↘ 	DI ▲24.0 ⇒ ▲3.5 ↘ 	DI ▲25.0 ⇒ ▲7.1 ↘
卸・小売業	DI ▲44.8 ⇒ ▲36.1 ↘ 	DI ▲50.0 ⇒ ▲30.5 ↘ 	DI ▲21.1 ⇒ ▲24.9 ↗ 	DI ▲34.2 ⇒ ▲25.0 ↘
サービス業	DI ▲28.9 ⇒ ▲27.5 ↘ 	DI ▲23.7 ⇒ ▲38.0 ↗ 	DI 7.9 ⇒ ▲3.4 ↘ 	DI ▲13.3 ⇒ ▲13.8 ↗



DI100～81



DI80～41



DI40～11



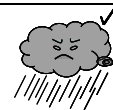
DI10～▲10



DI▲11～▲40

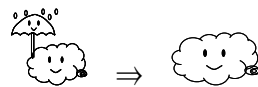


DI▲41～▲80



DI▲81～▲100

DI ▲30.0⇒▲10.0 ↘ (平成21年度第1四半期～平成30年度第2四半期の傾向)



↑ (平成30年度第2四半期と平成30年度第3四半期との比較)

【概 況】

(全業種) ※ () 内は前回調査値

① 市内の景況感について

「大変良い」0% (0%)、「良い」3.0% (3.5%)、「普通」64.1% (64.3%)、「悪い」29.8% (29.4%)、「大変悪い」3.1% (2.8%) となり、DIは▲29.9 (▲28.7) と1.2ポイント悪化した。業種別DIでは、卸・小売業、サービス業でプラスに作用し、建設業、製造業ではマイナスに作用した。

② 市内における業界の景気動向について

「大変良い」0% (0%)、「良い」5.3% (5.6%)、「普通」62.6% (60.1%)、「悪い」28.2% (32.2%)、「大変悪い」3.9% (2.1%) となり、DIは▲26.8 (▲28.7) と1.9ポイント改善した。業種別DIでは、製造業、卸・小売業でプラスに作用し、建設業、サービス業ではマイナスに作用した。

③ 前年同期 (平成29年10月~12月) 比の売上動向について

「増加」2.3% (3.5%)、「やや増加」16.8% (17.4%)、「変わらない」43.5% (39.9%)、「やや減少」24.4% (25.9%)、「減少」13.0% (13.3%) となり、DIは▲18.3 (▲18.3) と変化なし。業種別DIでは、建設業、製造業でプラスに作用し、卸・小売業、サービス業でマイナスに作用した。

④ 前年同期 (平成29年10月~12月) 比の採算動向について

「好転」0.0% (1.4%)、「やや好転」13.0% (2.7%)、「変わらない」51.9% (45.8%)、「やや悪化」26.7% (29.6%)、「悪化」8.4% (10.5%) となり、DIは▲22.1 (▲26.0) と3.9ポイント改善した。業種別DIでは、製造業、卸・小売業でプラスに作用し、建設業、サービス業ではマイナスに作用した。

《業種別概況》 ※（ ）内は前回調査値

(建設業) 回答：78社中38社、回答率52.7%

○市内の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」2.6% (0%)、「普通」63.2% (76.2%)、「悪い」29.0% (21.4%)、「大変悪い」5.2% (2.4%) となり、DIは▲31.6 (▲23.8) と

7.8ポイント悪化した。

○市内業界の景況感については、「大変良い」0.0% (0%)、「良い」2.6% (4.8%)、「普通」68.4% (73.8%)、「悪い」21.1% (19.0%)、「大変悪い」7.9% (2.4%) となり、DIは▲26.4 (▲16.6) と

9.8ポイント悪化した。

○前年同期比の売上げは、「増加」0% (4.8%)、「やや増加」8.0% (4.8%)、「変わらない」50.0% (45.2%)、「やや減少」21.0% (33.3%)、「減少」21.0% (11.9%) となり、DIは▲34.0 (▲35.6) と

1.6ポイント改善した。

○前年同期比の採算動向は「好転」0.0% (0%)、「やや好転」2.6% (7.1%)、「変わらない」57.9% (54.8%)、「やや悪化」31.6% (28.6%)、「悪化」7.9% (9.5%) となり、DIは▲36.9 (▲31.0) と

5.9ポイント悪化した。

《主な自由意見》

○昨年同期の売り上げ動向

好転要因では、受注件数が増加したためなどの回答があった。

悪化要因では、公共工事の減少や民間の設備投資減少、価格競争、人手不足による受注減などの回答があった。

○昨年同期の採算動向

悪化要因では、受注の減少や価格競争、材料費値上げ、人手不足の影響などの回答があった。

○経営上の問題

技術者などの高齢化による人材不足の声が寄せられた。

(製造業) 回答：64社中28社、回答率43.8%

○市内の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」3.6% (12.0%)、「普通」71.4% (64.0%)、「悪い」21.4% (24.0%)、「大変悪い」3.6% (0%) となり、DIは▲21.4 (▲12.0) と9.4ポイント悪化した。

○市内業界の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」17.8% (12.0%)、「普通」53.6% (52.0%)、「悪い」25.0% (36.0%)、「大変悪い」3.6% (0%) となり、DIは▲10.8 (▲24.0) と13.2ポイント改善した。

○前年同期比の売上げは、「増加」10.7% (4.0%)、「やや増加」17.9% (12.0%)、「変わらない」39.3% (44.0%)、「やや減少」14.3% (16.0%)、「減少」17.8% (24.0%) となり、DIは▲3.5 (▲24.0) と20.5ポイント改善した。

○前年同期比の採算動向は「好転」0% (0%)、「やや好転」17.9% (12.5%)、「変わらない」57.1% (50.0%)、「やや悪化」10.7% (20.8%)、「悪化」14.3% (16.7%) となり、DIは▲7.1 (▲25.0) と17.9ポイント改善した。

《主な自由意見》

○昨年同期の売上動向

好転要因では、国内海外の受注増加、為替・営業強化による改善などの回答があった。
悪化要因では、受注の減少や原料の不足などの回答があった。

○昨年同期の採算動向

好転要因では、原材料（青果）の価格変動や新商品開発による改善などの回答があった。
悪化要因では、原材料の高騰や受注減少などの回答があった。

○経営上の問題

気候変動による食品の質の低下や人材不足、事業承継を問題及び課題とする声が寄せられた。

(卸・小売業) 回答：73社中36社、回答率49.3%

○市内の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」2.8% (0%)、「普通」58.3% (55.2%)、「悪い」36.1% (39.5%)、「大変悪い」2.8% (5.3%) となり、DIは▲36.1 (▲44.8) と8.7ポイント改善した。

○市内業界の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」2.8% (0%)、「普通」63.9% (50.0%)、「悪い」30.6% (44.7%)、「大変悪い」2.7% (5.3%) となり、DIは▲30.5 (▲50.0) と19.5ポイント改善した。

○前年同期比の売上げは、「増加」0% (0%)、「やや増加」16.7% (26.3%)、「変わらない」41.7% (26.3%)、「やや減少」33.3% (31.6%)、「減少」8.3% (15.8%) となり、DIは▲24.9 (▲21.1) と3.8ポイント悪化した。

○前年同期比の採算動向は「好転」0% (2.6%)、「やや好転」11.1% (13.2%)、「変わらない」52.8% (34.2%)、「やや悪化」30.6% (36.8%)、「悪化」5.5% (13.2%) となり、DIは▲25.0 (▲34.2) と9.2ポイント改善した。

《主な自由意見》

○昨年同期の売上

好転要因では、海外相場の高騰、新規案件受注の増加などの回答があった。

悪化要因では、青果等の価格の低下、売上の減少、悪天候による販売不振などの回答があった。

○昨年同期の採算動向

好転要因では、価格転嫁による売上の増加、海外相場の高騰などの回答があった。

悪化要因では、売上減少や薬価引き下げ、ネット通販による実店舗での販売減少などの回答があった。

○経営上の問題

人材不足や事業承継、資金繰りを問題及び課題とする声が寄せられた。

(サービス業) 回答：65社中29社、回答率44.6%

○市内の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」3.5% (5.3%)、「普通」65.5% (60.5%)、「悪い」31.0% (31.6%)、「大変悪い」0% (2.6%) となり、DIは▲27.5 (▲28.9) と1.4ポイント改善した。

○市内業界の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」0% (7.9%)、「普通」62.0% (60.5%)、「悪い」38.0% (31.6%)、「大変悪い」0% (0%) となり、DIは▲38.0 (▲23.7) と14.3ポイント悪化した。

○前年同期比の売上げは、「増加」0% (5.3%)、「やや増加」27.6% (26.3%)、「変わらない」41.4% (44.7%)、「やや減少」27.6% (18.4%)、「減少」3.4% (5.3%) となり、DIは▲3.4 (7.9) と11.3ポイント悪化した。

○前年同期比の採算動向は「好転」0% (2.6%)、「やや好転」24.1% (18.4%)、「変わらない」38.0% (44.7%)、「やや悪化」31.0% (29.0%)、「悪化」6.9% (5.3%) となり、DIは▲13.8 (▲13.3) と0.5ポイント悪化した。

《主な自由意見》

○昨年同期の売上

好転要因では、新規店舗の開業、集客状況の好転、販売単価の増加などの回答があった。

悪化要因では、少子化に伴う消費の減少、海上運送の取扱い減少、人手不足などの回答があった。

○昨年同期の採算動向

好転要因では、受注の増加、企業努力などの回答があった。

悪化要因では、燃料費・仕入れ価格の高騰などの回答があった。

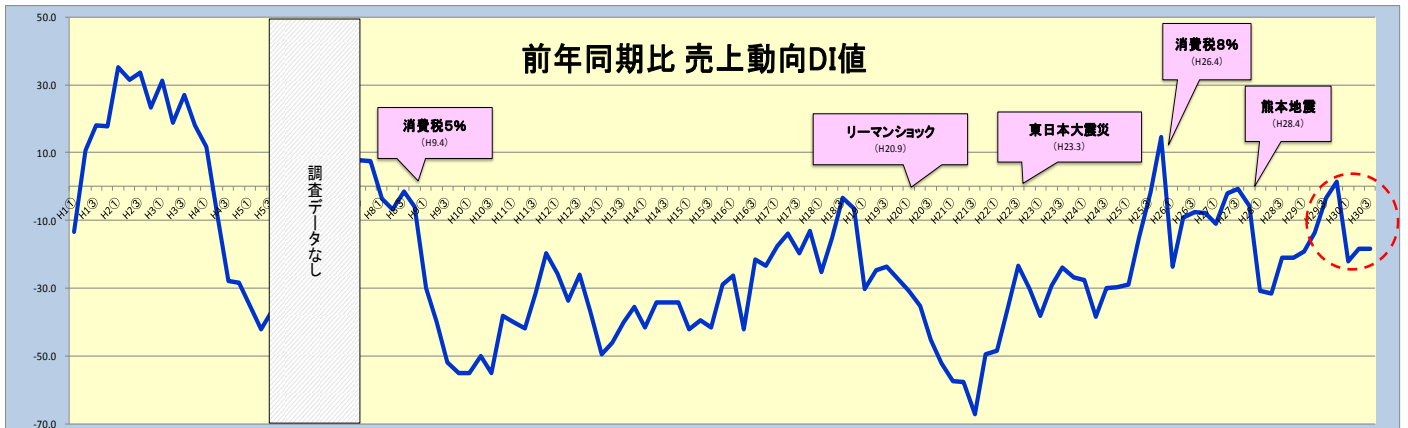
○経営上の問題

人材不足や設備の老朽化、原材料価格の高騰と消費増税などを問題及び課題とする声が寄せられた。

以上

平成 30 年度第 3 四半期 経営動向調査表

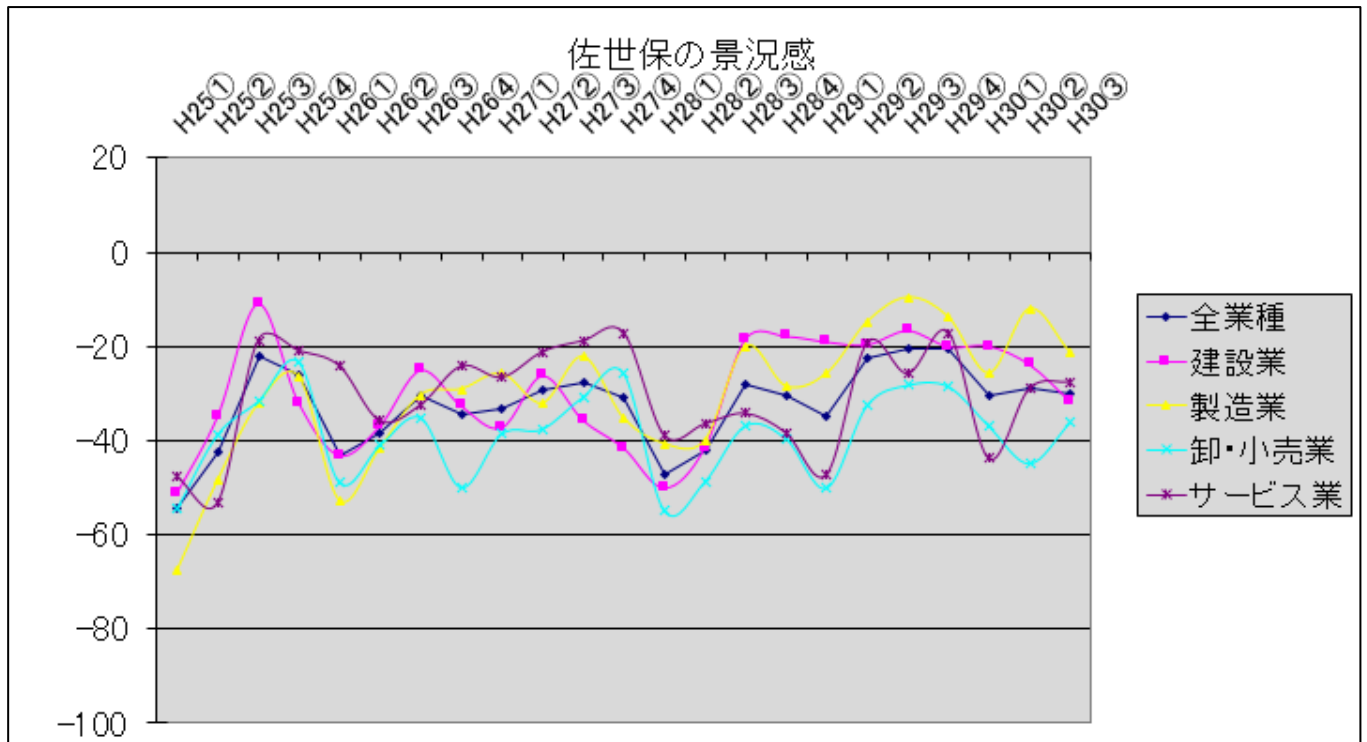
図表 1 - 1 【前年同期比売上動向D I 値の推移（平成元年～）】



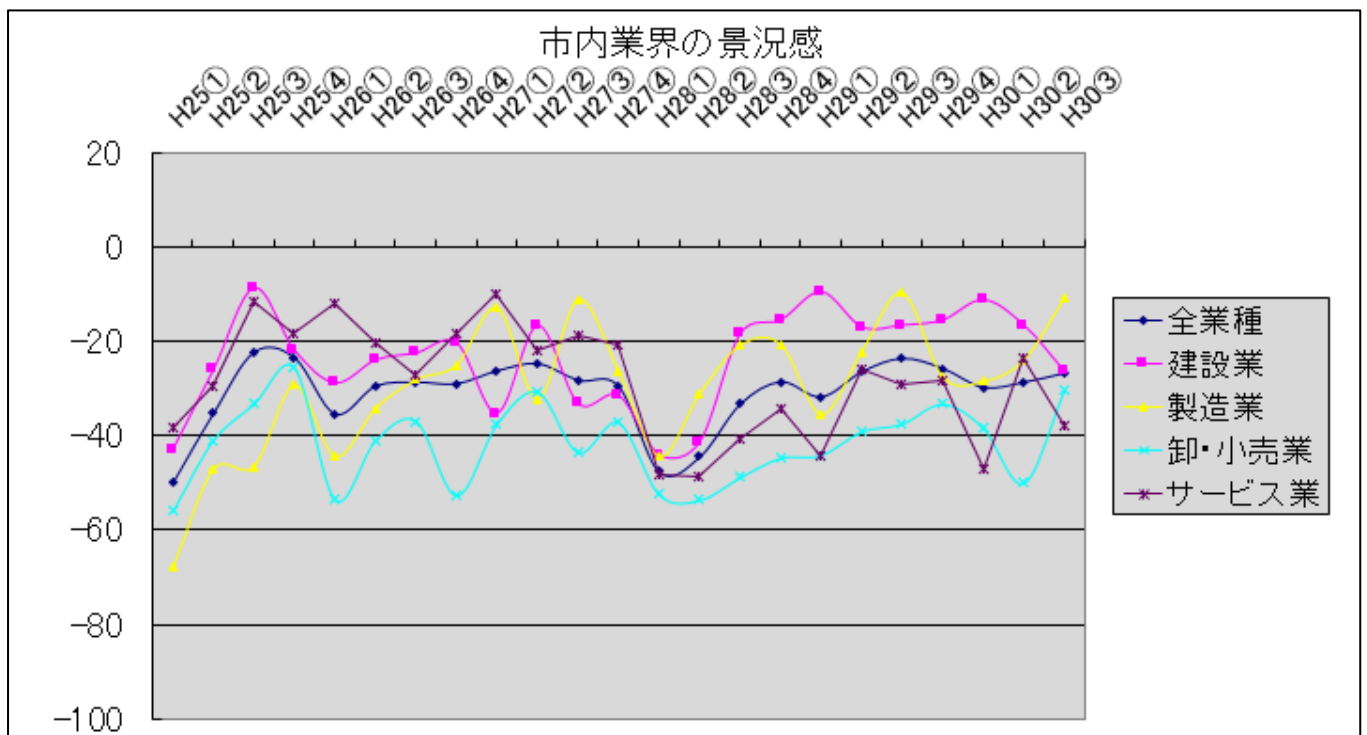
図表 1 - 2 【全業種D I 値の推移（平成 21 年～）】



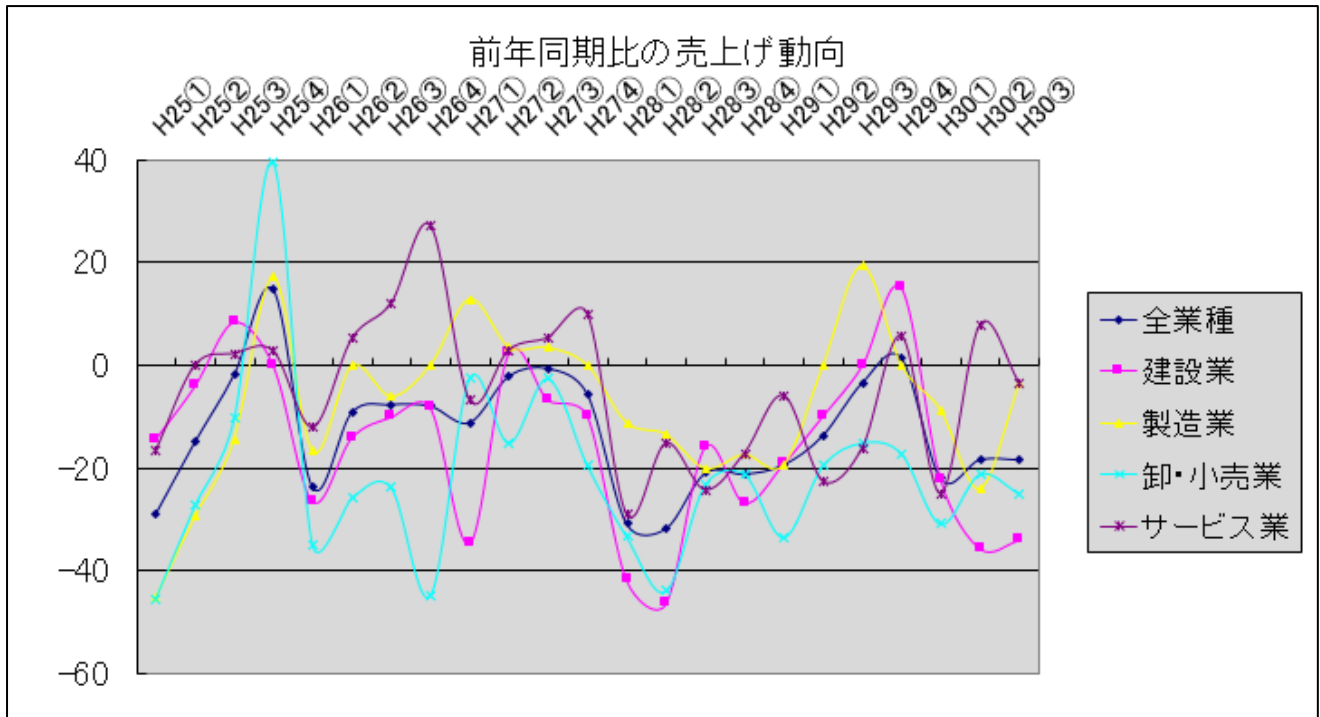
図表 1-3 【佐世保の景況感の推移（平成 25 年～）】



図表 1-4 【市内業界の景況感の推移（平成 25 年～）】



図表 1 - 5 【昨年同期比の売上動向の推移（平成 25 年～）】



図表 1 - 6 【昨年同期比の採算動向の推移（平成 25 年～）】

